第23巻第6号［宮崎県6週（2/8～2/14）全国第5週（2/1～2/7）］　令和3年2月18日

宮　崎　県　感　染　症　週　報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第6週の発生動向

□　トピックス

・新型コロナウイルス感染症（指定感染症）の報告が52例あり、2021年の累積報告数は1056例となった。

□　全数報告の感染症（6 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：報告なし。

疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	ー
		80歳代	女	肺結核	咳、痰

□　指定感染症（6 週までに新たに届出のあったもの）

疾患名	保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	22例				2	3	3	1	1	6	6	発熱、咳等
	延岡	1例								1			
	小林	1例						1					
	高鍋	24例	16		1	5	1	1					
	高千穂	4例	2		1			1					

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 515 人（定点当たり 14.7）で、前週比 105％と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はＲＳウイルス感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【ＲＳウイルス感染症】

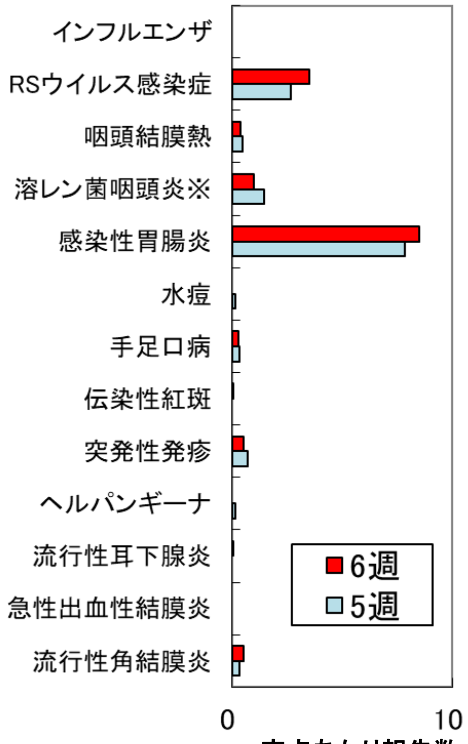
報告数は 127 人（3.5）で、前週比 132％と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（0.68）の約 5.2 倍であった。中央（17.0）、日南（14.0）、都城（3.8）保健所からの報告が多く、年齢群別は 1～2 歳が全体の約 7 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

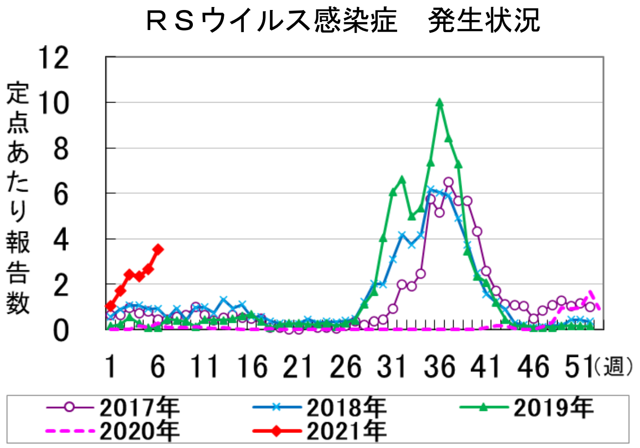
報告数は 306 人（8.5）で、前週比 109％と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（11.1）の約 0.8 倍であった。小林（19.7）、中央（15.0）、都城（13.3）保健所からの報告が多く、年齢群別 1～2 歳が全体の約 4 割を占めた。

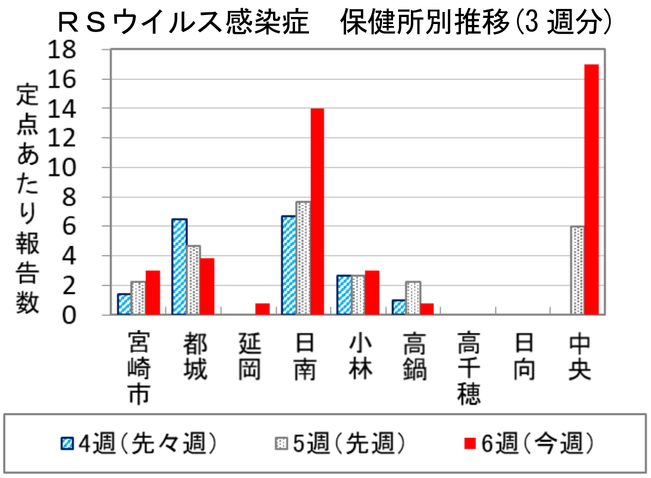
＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

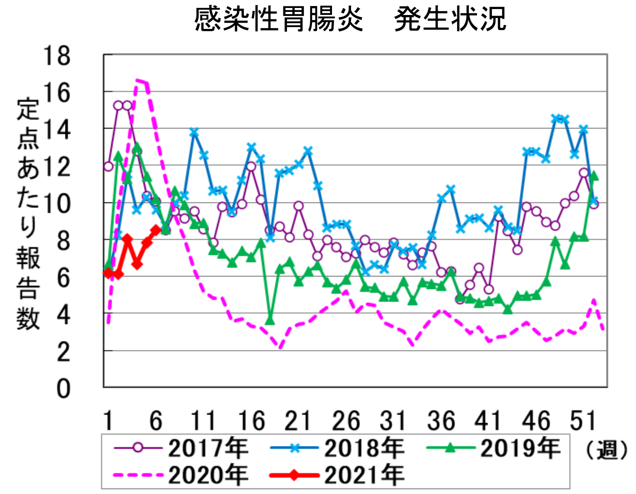
《前週との比較》

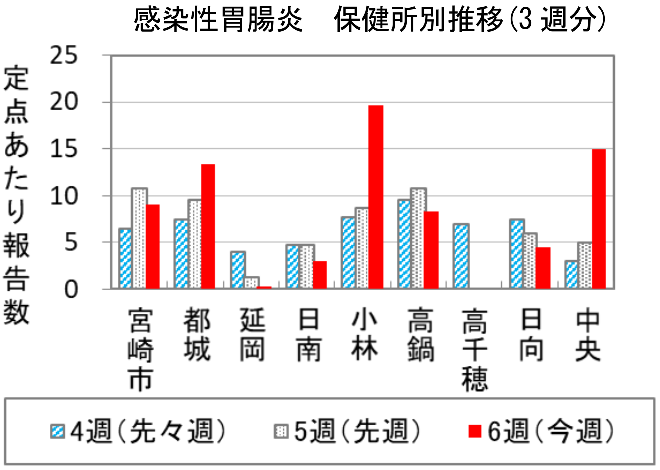


※　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎









★基幹定点からの報告★　報告なし。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★　なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部　令和 3 年 2 月 15 日までに検出）

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	40歳代	女	2021.1.4	無症状	便	2021.1.13
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	40歳代	女	2021.1.4	無症状	便	2021.1.10
Salmonella Corvallis (O8:z4,z23:−)	0～4歳	男	2021.1.9	無症状	皮膚	2021.1.15
EPEC(OUT:HUT)	90歳代	女	2021.1.9	発熱(39.1℃)、胃腸炎(下痢)	便	2021.1.19
EHEC(O26:H11)	0～4歳	女	2021.1.16	下痢	便	2021.1.26
EHEC(O26:H11)	40歳代	男	2021.1.16	無症状	便	2021.1.23
EHEC(O26:H11)	60歳代	女	2021.1.17	無症状	便	2021.1.25
EHEC(O26:H11)	0～4歳	女	2021.1.19	無症状	便	2021.1.26
EHEC(O26:H11)	0～4歳	女	2021.1.20	無症状	便	2021.1.26
EHEC(O26:H11)	0～4歳	男	2021.1.20	下痢	便	2021.1.26
EHEC(O26:H11)	30歳代	女	2021.1.22	無症状	便	2021.1.28
EHEC(O26:H11)	0～4歳	男	2021.1.23	無症状	便	2021.2.1
EHEC(O26:H11)	5～9歳	女	2021.1.23	無症状	便	2021.2.1

○教育・保育施設において腸管出血性大腸菌（ＥＨＥＣ）の集団感染が発生し、ＥＨＥＣ　O26（ＶＴ1）が分離された。今回の事例では、ほとんどが無症状であった。腸管出血性大腸菌による感染症は、抵抗力の低い乳幼児や高齢者の発症率や重症化率が高くなる傾向にある。一般に気温の高い初夏から晩秋にかけて多発するが、例年冬季にも分離・検出されており、夏季同様に手洗い及び食品の衛生管理に十分な注意を払う必要がある。保育施設においては、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」2018 年 3 月改訂を参照にされたい。

★ウイルス　報告なし。

全国 2021 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 5 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	259 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7 例				
4類感染症	Ｅ型肝炎	8 例	Ａ型肝炎	2 例	つつが虫病	4 例
	レジオネラ症	27 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性脳炎	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	7 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	14 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	68 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	11 例	風しん	1 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は特になかった。

ＲＳウイルス感染症の報告数は 784 人(0.3)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.40)の約 0.6 倍であった。宮崎県(2.7)、長崎県(1.9)、熊本県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,923 人(2.8)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.3)の約 0.5 倍であった。宮崎県(7.8)、鹿児島県(6.6)、福井県(6.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向　＜2021 年 1 月＞

□性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：13

　定点医療機関からの報告総数は45人(3.5)で、前月比141%と増加した。また、昨年1月(1.4)の250%であった。

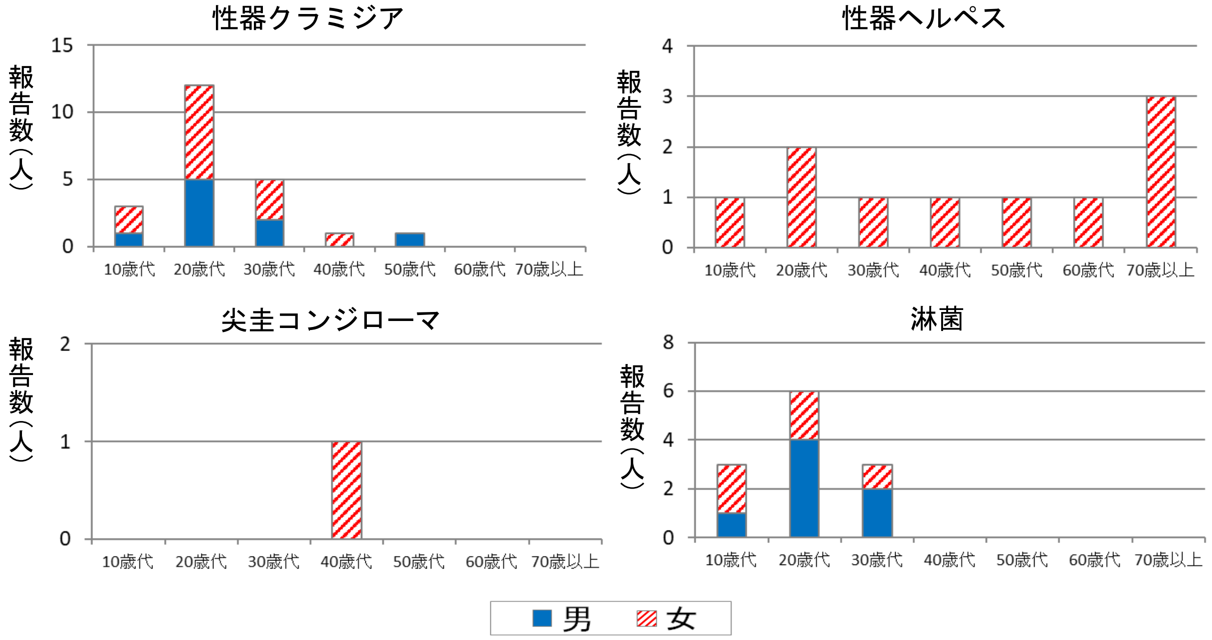
《疾患別》

　○性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約1.5倍、昨年1月の約1.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性9人・女性13人)

　○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約1.1倍、昨年1月の5.0倍であった。(女性10人)

　○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍であった(昨年1月は報告なし)。(女性1人)

　○淋菌感染症：報告数12人(0.92)で前月の2.0倍、昨年1月の4.0倍であった。(男性7人、女性5人)



【全国】定点医療機関総数：982

　定点医療機関からの報告総数は4,329人(4.4)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,336人(2.4)で前月比101%、性器ヘルペスウイルス感染症716人(0.73)で前月比96%、尖圭コンジローマ442人(0.45)で前月比98%、淋菌感染症835人(0.85)で前月比115%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：7

　定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比118%と増加した。また、昨年1月(2.3)の125%であった。

　《疾患別》

　○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.2倍、昨年1月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の6割を占めた。

　○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

　○薬剤耐性緑膿菌感染症　：報告なし。

【全国】　定点医療機関総数：479

　定点医療機関からの報告総数は 1,330(2.8)で、前月比 104%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1,281 人(2.7)で前月比 106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 44 人(0.09)で前月比 69%、薬剤耐性緑膿菌感染症 5 人(0.01)で前月比 50%であった。

宮崎県 感染症情報　（72定点医療機関 ）

2021年 第6週(02月08日～02月14日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	96	127	30	23	3	42	9	3			17
	定点当り	2.67	3.53	3.00	3.83	0.75	14.00	3.00	0.75	0.00	0.00	17.00
咽頭結膜熱	報告数	17	13	2	3	2	4		2			
	定点当り	0.47	0.36	0.20	0.50	0.50	1.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	52	35	9	2	14	7		2		1	
	定点当り	1.44	0.97	0.90	0.33	3.50	2.33	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	282	306	91	80	1	9	59	33		18	15
	定点当り	7.83	8.50	9.10	13.33	0.25	3.00	19.67	8.25	0.00	4.50	15.00
水　痘	報告数	5										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	12	11	2	3		3		1	1	1	
	定点当り	0.33	0.31	0.20	0.50	0.00	1.00	0.00	0.25	1.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数		1						1			
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	18	7	3	2	3		1		2	
	定点当り	0.69	0.50	0.70	0.50	0.50	1.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	3	3								
	定点当り	0.33	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～6週)

2類感染症	結核	12例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例				
4類感染症	E型肝炎	3例	つつが虫病	12例	レジオネラ症	1例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	梅毒	5例	百日咳	1例		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1056例(52)				

(　)内は今週届出分、再掲